

大学には、どんな研究室があって、どんな先生がいて、どんな研究をしているんだろう？



Spring
Open Campus

親子で参加

生徒・保護者の
単独参加も可



宮崎大学 農学部 農学科 動植物資源生命科学コースは 2025 年にできた新しいコースです。動物と植物のサイエンスから『農』の未来を描くことを目標に、宮崎大学農学部の植物と動物に関する教員が集まってできました。12 の動物系研究室と、15 の植物系研究室から構成されています。

今回、本コースのことをもっと知ってもらいたいと思い、春のオープンキャンパスを企画しました。

春のオープンキャンパスは、中学生・高校生・保護者の皆を対象に夏のオープンキャンパスでは体験できなかったミニ実験や研究室見学、在校生との座談会などを豊富に準備しています。

夏に参加された方も、参加されなかった方もぜひお越しください。

CONTENT

学びの内容の紹介（質疑応答の時間も設けます）

- 農学ってどんな学問？
- 農学部ってどんなところ？
- 動植物コースの特徴（学びの内容、資格、進路など）
- 入試について（定員・選抜方法・日程など）
- 大学生活について

植物系研究室、動物系研究室のミニ実験、研究室見学
申込時に希望の体験コースを選択

進路相談会

教員や在学生が進路の悩みについてお答えします

詳しくは申込ページをご覧ください。

2026年 3月14日（土）

13:00 - 17:00 12:30 受付開始

対象

農学部に興味のある中学生・高校生と
その保護者

場所

宮崎大学農学部（木花キャンパス）
講義棟 2 階・L204 講義室（集合場所）

定員

100 名（事前予約制）

参加方法

QR コードから事前に申し込みが必要
です。定員になり次第、受付を締め切
ります。

問い合わせ

889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学農学部教務・学生支援係
TEL : 0985-58-3834 e-mail : nou-kyoumu@of.miyazaki-u.ac.jp

申込ページはこちら



1 | 学びの3つのポイント

生命科学のその先に

動物と植物への興味と探究が未来の農業を支える糧に

01 動物と植物から「農」の未来を描く

動物や植物、生命科学に関する基礎研究に加え、家畜・植物生産を総合的に学び、環境やアニマルウェルフェアに配慮しながら生産性や生産物品質の向上を目指す『未来の農業』を創造する力を養います。

02 動物と植物に関する分野融合・実践的教育

- 動物や植物、生命科学、食料資源としての動植物生産に関する分野融合的教育
- スマート農業やデータサイエンスに関する先端教育
- 地域資源の有効活用や環境に配慮した農畜産物生産に関する実践的教育

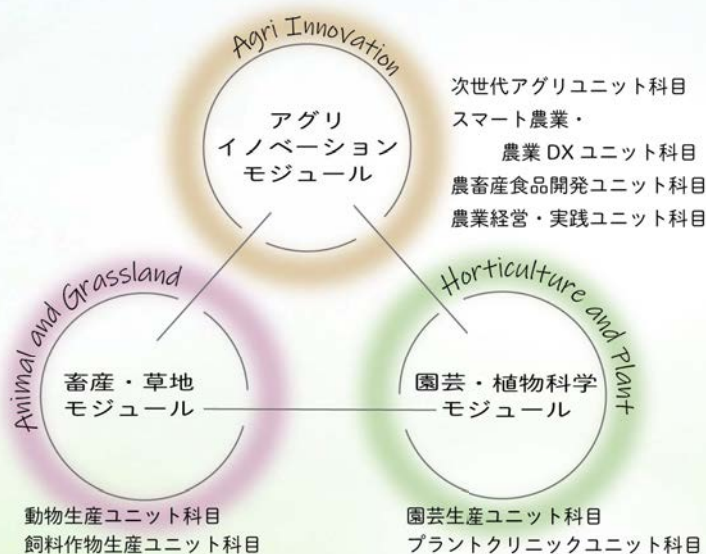
03 未来の農業を創造できる人材の育成

持続的な農業・畜産業のために、多面的な知識と最先端 DX 技術やデータサイエンス技術を活用し、未来の農業を情熱をもって創造できるリーダー人材を育成します。

2 | 自分で作る自由な学び

学生数は各学年約 100 名

九州だけではなく、全国から学生が集まっています。



本コースでは、独自のモジュール・ユニット制をとっています。

モジュール・ユニット制とは、学習の道標となる履修モデルのことで、アグリイノベーションモジュール、畜産草地モジュール、園芸植物科学モジュールの3つを設け、それぞれのモジュールの中に専門科目を学びの内容でグループ化したユニットがあります。

3つのモジュールには、将来の進路に合わせて、学んでほしい推奨科目を設定していますので、想定している自分の進路や夢に合わせて、モジュールの推奨科目を受講するとともに、関連するユニットの科目を自由に学べます。

一つ分野にとらわれることなく複数の分野を学べることも本コースの特徴の一つです。

3 | 動物と植物に関する 27 分野の研究室

教員数は約 40 名。小さな農学部

といえるほど多くの分野があります。

動物派？植物派？

あなたに合った分野・研究室が見つかるはず

動物系 12 分野

- 動物遺伝育種学
- 動物生理栄養学
- 動物衛生微生物学
- 草地生態システム学
- 畜産食品科学
- 牧場
- 動物生殖制御学
- 動物環境管理学
- 草地管理学
- 飼料作物・利用学
- 草類遺伝資源・育種学
- 生物資源

植物系 15 分野

- 植物遺伝育種学
- 作物学
- 野菜・花き園芸学
- 園芸利用学
- 植物病理学
- 生産システム工学
- 農業経営経済学
- フィールド科学
- 土壌肥科学
- 果樹園芸学
- 花き生理学・植物分子生物学
- 施設園芸学
- 応用昆虫学
- 労働環境工学
- 農業技術史学